

令和7年度一般選抜前期日程入学試験

総合問題

採点のポイント

【出題の意図】

アドミッションポリシーに基づき、志願者の能力・志向性・適性を多角的に評価することを目的として出題した。

学部、学科にかかわらず、本学で学ぶために必要な基礎学力が備わっていることを前提として、心、AI、ロボットについて書かれた文章をもとに、的確な読解力・理解力・論理的思考力・文章構成力などを見ることを意図して問いを設定した。

＊解答例はすべて省略した

問1 課題文①下線部（ア）に「心の《拡散》と《集中》」とあるが、どのようなことを指しているか、本文のことばを用いながら45字以内で答えなさい。

〔採点のポイント〕

○「心の《拡散》と《集中》」の意味内容について適切に理解している

○問いに対する解答として必要十分な情報を、誤字脱字、ねじれのない適切な文で説明、表現している

問2 課題文①下線部（イ）に「意識と世界を、情報という同じプロトコルで処理することが可能なのではないかという期待は、歴史的にも革新的なものであった」とある。筆者がそう考える理由を、「精神の歴史」・「情報技術」ということばを用いて、75字以内で説明しなさい。

〔採点のポイント〕

○文脈に即して以下の内容に触れている

・精神の歴史は心の《拡散》と《集中》の往復の歴史である

・心の《拡散》と《集中》は方向性が異なり、両者を同時に実現することはできなかった

・情報技術は《拡散／集中》の方向性を無化すると考えられた

○「精神の歴史」「情報技術」という語を適切に用いている

○問いに対する解答として必要十分な情報を、誤字脱字、ねじれのない適切な文で説明、表現している

問3 課題文②下線部（ウ）「ヒトの脳の動作をモデル化したネットワークである」というAI についての説明に関して、筆者は「奇妙な説明」と述べている。筆者がそう考える理由を30字以内で答えなさい。

〔採点のポイント〕

- 文脈に即して以下の内容に触れている
 - ・脳の動作が未解明である
 - ・脳のモデル化が不可能である
- 問いに対する解答として必要十分な情報を、誤字脱字、ねじれのない適切な文で説明、表現している

問4 課題文②下線部(エ)「A Iの脆弱性^{ぜいじやく}と危険性」とは具体的にはどのようなことを言っているか、本文の内容に即して150字以内でまとめなさい。

〔採点のポイント〕

- 文脈に即して以下の内容に触れている
 - ・些細なノイズが混ざるだけで、不可解な解答をする
 - ・非常に薄いノイズを重ねるだけで、まったく違う画像だと解答する
 - ・AIのミス回避する方法がわからず、AIに対する敵対的攻撃への対処が困難になる
- 問いに対する解答として必要十分な情報を、誤字脱字、ねじれのない適切な文章で説明、表現している。

問5 課題文③下線部(オ)に「このようなロボットを作るのはきわめて難事業」とある。筆者がそう考える理由を、「このようなロボット」が指す内容を明確にした上で、170字以内で説明しなさい。

〔採点のポイント〕

- 文脈に即して以下の内容に触れ、説明している
 - ・直前に記されていることを踏まえ、「このような」の指し示す内容を明確に指摘している
 - ・人間が心や目的意識、集団全体が進化する仕組みを備えたのは、人が一回限りの掛け替えのない人生を生きているからである
 - ・喜びや悲しみといった感情は個人の長い経験の蓄積の末に生じるものである
 - ・ロボットには以上のようなことがない
- 問いに対する解答として必要十分な情報を、誤字脱字、ねじれのない適切な文章で説明、表現している

問6 課題文①の二重下線部「20世紀が機械によって人間の肉体や行為が凄まじい速度で代替されていった時代だったとすれば、21世紀は機械が同じような速度で人間の精神やコミュニケーションを代替していく時代になるだろう」という筆者の主張について、あなたはどうか考えるか、課題文①・②・③の内容を踏まえて、500字以内で述べなさい。その際、次の語群から3つ以上を用い、用いた語は答案上に□で囲みなさい。

〈語群〉

コスト アウトソーシング 脆弱性 危険性 目的意識 クオリア

【採点のポイント】

- 課題文①の筆者の主張に対する自らの考えを明確に示している
- 課題文①・②・③の内容を踏まえて記述している
- 提示された語群の中から３つ以上の語を選び、適切に用いて□で囲み、記述している
- 誤字脱字、ねじれのない適切な文章で論理的に表現している